

## 場づくりの要素 その2

今回も“場づくりの要素“について話をしていきます。

その1ではプロセスのデザインについてお話しさせていただいたのですが、今回は空間や配置、小物などについてのお話しをさせていただきます。

場には、それをつくる人のスタンスが表れます。いわゆる『らしさ』というものが空間や雰囲気、小物などから表現され、それが参加してくれる人に自然と伝わります。その伝わった感覚をすべての人が顕在的に理解するかどうかはその人次第でしょうが、それでも潜在的に影響を与えていきます。

なのでまずここでひとつ問いを投げかけさせてください。その1でも同じ様な問いを投げかけさせていただいたのですが、あらためてお訊きしますね。

あなたはどんなダイアログの場が作りたいですか？

例えば僕なら、その場に来ることで本音を自然と話せるそんな場が作りたいです。リラックスして喜怒哀楽をしっかりと感じてもらいながら、時間が経つのを忘れて話せる、そんな場で、そこでダイアログして気づいたことから、それを持ち帰って主体的に行動してもらえるような場になるように、そのためにも本音に触れてもらうことが重要になりますね。

それらを無理矢理気づかせるのではなく、自然と気づく環境をつくって、そこでダイアログを続けたいです。気づかせるではなく、気づく場で、まとめるのではなく、まとまる場。プロセスのデザインをしっかりと行って、あとはその場のタイミングを信頼し、場をきっかけに個々が自分自身で気づきを得て行動する、そんな場が作りたくたいです。

こうやって自分の作りたくたい場をイメージしてもらえれば、それを行う場所も自然と決まってくる。例えば思い込みを外したいのであれば、自分にとっても参加する人にとっても思いがけない場所を選んでみるというのがありますし、僕の旅先での体験からですが、県外や国外でダイアログすることで普段の安全領域を出て多少の不安はあれど自由に話せる環境になるので、安全領域外でダイアログできるように、そんな場所を選ぶといったカタチで場所も自然と絞られてきます。

あと、僕は散歩でダイアログという個人セッションを行っているのですが、そのセッションではクライアントの好きな場所を選んでもらって、そのあたりを散歩したりカフェでお茶をしたりしながらダイアログします。そのセッションの目的はクライアントの持つ才能や経験に目を向けることであるので、それらを解放するためにも非日常感のある開放的な場所が自然と選ばれます。

大事なことを決める会議は外に出て行うという会社もある様に、近年では話しをする場所も多様化してきています。それに昔からある井戸端会議、今でいうと例えば喫煙所での話は意外な情報を聞き出せたりと、人は場所や環境によって話の内容を自然と選んできました。かしこまった場もあれば、とてもゆるい場もある訳で、それらは自由に選択することができるのです。

人と人との距離にしてみても自由に選べます。満員電車で隣り合った人とダイアログするのと、公園のベンチに横並びで座ってダイアログするのとでは、想像しただけでも大きな違いが生まれそうですね。横並びに座ったり、対面で座ったり、お互いで90度になるように座ったり。

例えば関係性をより密にしたいのであれば、机があるよりは机のないイスだけの場の方が、全体も見れるし物理的な距離も近づきやすかったりします。でも逆に寄りすぎると話しにくかったりもするので、まずはご自分が心地よく話せる距離を日常の中で意識して計ってみるということをしてみてください。

その場に複数の人がいるのであれば、トーキングスティックがあるとわかりやすいですね。そんなに難しく考えず、まずは話す人の目印としてその場に置いておきます。これはネイティブアメリカンのある部族が使っていたもので、円座の中心にトーキングスティックを置いて、話したい人がそれを取り話、それ以外の人はその話を聴くというとてもシンプルなルール。それを参考にして、例えば棒でもぬいぐるみでも何らかの目印となる物を準備しておきます。

そして、食べ物や飲み物もリラックスしてダイアログしやすい環境をつくってくれます。飴やお菓子、お茶にコーヒーといったものから、ランチやディナーも場の目的からすると必要なものになる可能性があります。

また香りや音も場をつくるための重要な要素で、食べ物や飲み物の香りやアロマや自然の木々の香り、そしてまわりの人が話す音や音楽、鳥のさえずりに葉っぱの揺れる音など、いろんな香りや音に包み込まれながら僕たちは毎日を過ごしているので、少しだけでもそこに目を向けると、どんな場をつくりたいのかを後押ししてくれます。

※ ご自分の聴覚、嗅覚、体感覚を確認したいのであれば、ダイアログインザダークに行くことをオススメします。 <http://www.dialoginthedark.com>

そうすると場をつくる人の服装も決まってきます。そこに立っているのあなたの服装はパーティーの様な服装でしょうか。それともカジュアルな服装でかしこまらない身近な感覚をつくるなど、いろんな選択が出来ます。その時期のイベントや場の雰囲気に合わせてコスプレすることもできますし。

これまでで、あなたのスタンスでつくられる場のイメージは出来ましたか？できればそのイメージを紙に書き出す作業もしてみてください。頭に浮かんだ映像を絵で描きだすと、見えなかった物がまた見えてくるでしょうし。もし絵がどうしても苦手だという人は言葉を並べてみながら、もしくは雑誌やパソコンから集めた写真やイラストを並べてみながら。

ダイアログの教科書を書く中で何度も何度も繰り返し書いているフレーズではありますが、場づくりもまずは体験してみることに尽きます。実際に体験してみるから何が出来て何を加えるのかが見えてくるのです。実際、完璧な場など存在しません。あるのは、その都度その都度に対してベストな場なので。

まずはひとつから3つ程度の場づくりの目標を持って場をつくってみてください。そしてそれをふり返って、出来たところと出来なかったところを整理して。そしてまた目標を立てて場をつくって。そうしていると勝手に自分の矛盾に気づき、あなたの目指す場により近づいていくはずですので。

読み終えた感想や質問はぜひ下記の URL から「みんなのダイアログ」へご投稿お願いします。そこで一緒にダイアログしましょう。

みんなのダイアログ

<http://cobaken.net/webdialog/index.php?qa>